

寺内曜子

- 1954 東京に生まれる
- 1977 女子美術大学芸術学部造形学専攻卒業
- 1978 同大学研究科修了
- 1979-81 セント・マーティンス美術大学（ロンドン）彫刻科アドヴァンストコースに学ぶ
- 1983-84 ヘンリー・ムーア財団フェローとしてロンドンの
カンバーウェル美術大学にてアーティスト・イン・レジデンス
- 1979-98 ロンドン在住で作家活動
- 1999- 東京在住で作家活動

個展

- 2023 「寺内曜子 一即多多即一」 HAGIWARA PROJECTS（東京）
- 2021 「寺内曜子 パンゲア」 豊田市美術館（愛知県）
- 2021 「寺内曜子展 満ち潮 引き潮」 ふじ・紙のアートミュージアム（富士市・静岡県）
- 2019 「寺内曜子 退任展 London-Aichi」 愛知県立芸術大学サテライトギャラリーSA・KURA（名古屋）
- 2017 「スタンディング・ポイント1 寺内曜子」 慶應義塾大学アートセンター（東京）
「寺内曜子の赤と青」 かんらん舎（東京）
- 2016 「寺内曜子・回顧」 かんらん舎（東京）
- 2015 「一即多多即一」 星画廊（名古屋）
- 2013 アートラボあいち（名古屋）
- 2011 表参道画廊（東京）
- 2010 「空中楼阁2010」 愛知県立芸術大学サテライトギャラリー（名古屋）
- 2009 "ONE Cut" スリーパー・ギャラリー（エジンバラ、スコットランド）
"ONE Hole" ケイアン・ギャラリー（ピッテンウイーム、スコットランド）
- 2001 「寺内曜子のマルチプル作品」 かんらん舎（東京）
「対象なき視覚のために」 ギャラリーαM（東京）
- 2000 「TUES 2000 寺内曜子展」 美ヶ原高原美術館（長野）
- 1998 シント・ルカス・ファウンデーション（ブリュッセル、ベルギー）
「寺内曜子『衝撃』」 ギャラリー小柳（東京）
- 1996 "Hot Lines" ドイツ国立通信博物館（ベルリン、ドイツ）
フルーツマーケット・ギャラリー（エジンバラ、スコットランド）
- 1994 チゼンホール・ギャラリー（ロンドン・イギリス）
- 1993 "Luftshloss" カルテル（ハンブルク、ドイツ）
VKB ギャラリー（グムンデン、オーストリア）

- ヴィクトリア・ミロ（ロンドン、イギリス）
- 1992 かんらん舎（東京）
メンヒェングラートバッハ市立アプタイベルク美術館（ドイツ）
- 1991 ギャラリー・ホフマン（フリードバーグ、ドイツ）
かんらん舎（東京）
- 1990 "Loop & Pool" ケイアン・ギャラリー（グロスターシャー、イギリス）
"Ebb & Flow" 109チャリング・クロス・ロード（ロンドン、イギリス）
- 1987 アスペクス・ギャラリー（ポーツマス、イギリス）
ヴィクトリア・ミロ（ロンドン、イギリス）
アーノルフィニ（ブリストル、イギリス）
- 1986 ヨークシャー・スカルプチャー・パーク（ウェイクフィールド、イギリス）
クーパー・ギャラリー（バーンズレー、イギリス）
コーナーハウス（マンチェスター、イギリス）
- 1985 "POOL" サウス・ロンドン・アート・ギャラリー（ロンドン、イギリス）
- 1984 "Yoko Terauchi Making Sculpture" リーズ市立美術館（イギリス）
- 1983 コラクル・プレス（ロンドン、イギリス）

二人展

- 2022 「yoko terauchi und gary woodley」 galerie hoffmann, (Friedberg-Ossenheim, ドイツ)
- 1984 「Cuisin Art Tricot Art」 121Art Gallery (アントワープ、ベルギー) (With Nicole Stenger)

グループ展

- 2024 「かたちとゆらぎ」東京国立博物館・柳瀬荘（所沢・埼玉）
「釜山ビエンナーレ2024」釜山現代美術館 他（釜山、韓国）
- 2023 「raritäten」 galerie Hoffmann (Friedberg, ドイツ)
「アートサイト名古屋城2023 想像の復元」名古屋城（愛知）
「彫刻と教育」東京国立博物館・柳瀬荘（所沢・埼玉）
「令和4年度新収蔵品展」豊田市美術館
「コレクション 小さきもの一宇宙／猫」豊田市美術館
「追悼/ 設楽知昭」愛知県立芸術大学サテライトギャラリーSA-KURA（名古屋）
- 2022 「linien」 galerie Hoffmann (Friedberg , ドイツ)
「Bibliomania-Das Buch in der Kunst」 Villa Zanders Museum (Bergisch Gladbach, ドイツ)
「令和4年度第2回所蔵作品展『MOMATコレクション』」東京国立近代美術館
「AGAIN-ST Roots/Tools」武蔵野美術大学美術館・図書館（東京）
「Concept Japon」 imprints-Galerie, (Crest, France)

- 「女子美術大学美術館コレクションJAMのABC展鑑賞のプラクティス」女子美アートミュージアム（相模原）
- [[FIGUR]by Hagiwara Projects] CADAN有楽町（東京）
- 「15th edition triannual of sculpture」Campo & Campo（アントワープ、ベルギー）
- 2021 「Pacific Breeze II」White Conduit Projects（ロンドン）
- 「einblicke」edition & galerie Hoffmann（Friedberg, ドイツ）
- 「空間の中のフォルムーアルベルト・ジャコメッティから桑山忠明まで」神奈川県立近代美術館 葉山
- 2020 「2020年度第3期コレクション展」愛知県美術館
- 「Gommisti」imprints-Gallery (Crest ,France)
- 「INDIRECT '20」愛知県立芸術大学
- 2019 「丘の上のキャンパスから」愛知県立芸術大学サテライトギャラリーSA-KURA (名古屋)
- 「引込線／放射線」第19北斗ビル（所沢）
- 「なんてラディカル！」かんらん舎（東京）
- 「The Size of Thoughts」White Conduit Projects（ロンドン）
- 「From the Kitchen Table : Drew Gallery Projects 1984-90」Southwark Park Galleries（ロンドン）
- 「MOMAT コレクション」東京国立近代美術館
- 「MOT コレクション：ただいま／はじめまして」東京都現代美術館
- 2018 「From the Kitchen Table : Drew Gallery Projects 1984-90」Herbert Reid Gallery, UCA Canterbury（英国）
- 「Collection I」国立国際美術館（大阪）
- 2017 「ビブリオテカ・アルテ 2017」長久手市中央図書館（愛知）
- 「引込線 2017」旧所沢市立第2学校給食センター（埼玉）
- 「Re:コレクションI 美術館を（一足早く）解体する」愛知県美術館
- 2016 「International Exhibition by AUA 2016 “NANAIRO +”」瀬戸内国際芸術祭2016, 龍潜荘（女木島、香川）
- 「Hirose Collection 19」ヒロセコレクション（広島）
- 2014 「ある板前さんの眼」かんらん舎（東京）
- 「アウエーゲーム」東京国立博物館 柳瀬荘（所沢、埼玉）
- 「Schema /Sukima」Laure Genillard（ロンドン）
- 2013 「International Exhibition by AUA 2013 “NANAIRO “」瀬戸内国際芸術祭2013, 龍潜荘（女木島、香川）
- 「Little Vehicle」星画廊（名古屋）
- 2012 「Printed in Norfolk」Site Gallery（シェフィールド・英国）他
- 2011 「Aphasic Disturbance」Chelsea Space（ロンドン）
- 2010 「Japanische Visuelle Poesie & Miteinander」
- Schloss Dugstuhl - Leibniz Zentrum für Informatik（Saarbrücken,ドイツ）
- 「Visual Poetry-Concrete Texts」Vasarely-Museum of Fine Arts,(Budapest, ハンガリー)
- 2009 「Japanische Visuelle Poesie II」Kunst Universitat Lintz（オーストリア）
- 「Japan」Slewe Gallery（アムステルダム・オランダ）
- 「Japanische Visuelle Poesie : 34 Künstler aus Japan」kunsttempel(kassel ,ドイツ)

- 2008 「The Open Page コラクル 拡張したアーティストブック」 愛知県立芸術大学芸術資料館 (愛知)
「Japanisch Visuelle Poesie & Loughter In Sinobara」 Akademy Galerie (Plauen, ドイツ)
Galerie Riedmiller (Bad Gronenbach, ドイツ)
- 2007 「30年分のコレクション」 国立国際美術館 (大阪)
「rooms」 名古屋市民ギャラリー矢田 (愛知)
「Japanisch Visuelle Poesie & Loughter In Sinobara」
Institute Fur Konstruktive kunst Und Konkrite Poesie (Rehau, ドイツ)
- 2006 「愛知・シルパコーン交流展」 シルパコーン大学アートセンター (バンコク、タイ)
「Collection 4」 国立国際美術館 (大阪)
- 2005 「ピブリオテカ・アルテ2005」 長久手町中央図書館 (愛知)
- 2004 「透過する光」 かんらん舎 (東京)
- 2002 「JOSHIBI NEW WAVE Part2 A Spontaneous Stile-自発性」 女子美アートミュージアム (相模原)
「Japanische Visuelle Poesie」 リンツ美術大学 (オーストリア) / **Forum Konkrete Kunst Erfurt(ドイツ)** /
Institute fur Konstruktive Kunst und Konkrete Poesie (Rehau ドイツ) /
オーストリア大使館 **Cultural Forum Gallery(東京) / Galerie Lindner (ウイーン、オーストリア)**
「アクト・オブ・リニューアル」 ヴィクトリア&アルバート美術館 (ロンドン)
- 2000 「in other eyes—それぞれのまなざし」 女子美術大学美術資料館 (相模原)
「空間体験—国立国際美術館への6人のオマージュ」 国立国際美術館 (大阪)
- 1999 「エキノックス」 ケイアン・ギャラリー (グロースターシャー、イギリス)
「ポジショネン」 バウハウス (デッサウ、ドイツ)
- 1997 「紙=美術3」 ノイエ・クンストフェライン・アシャフェンベルク (ドイツ)
「ページの空間」 ヘンリー・ムーア・インスティテュート (リーズ、イギリス)
「プロポジションス」 ケイアン・ギャラリー (グロースターシャー、イギリス)
「トランスパラッツ」 ギャラリー・ホフマン (フリードバーグ、ドイツ)
- 1996 「オープン・ドア」 ハンガリー国立美術アカデミー (ブダペスト、ハンガリー)
「ENVOYS Association of Women Artists International Postcard Project」
Lopdell House Gallery (ニュージーランド)
「オウステラング」 ギャラリー・ホフマン (フリードバーグ、ドイツ)
- 1995 「50人の作家 50点の作品」 佐谷画廊 (東京)
- 1994 「mapping knowledge」 マイノリース・ギャラリー (コルチェスター、イギリス)
- 1993 「彫刻家のドローイング_この4世紀」 ミストドロチテルスキーパレス・モラヴスカ・ギャラリー
(ブルーノ・チェコ)
- 1992 「彫刻の遠心力—この10年の展開」 国立国際美術館 (大阪)
「Ryo(旅): 5人の在外日本人彫刻家」 シンガポール国立美術館
「オンリー・ペーパー?」 ベルギッシュグラッドバッハ市立ヴィラ・サンダース美術館 (ドイツ)
「イマジナリー・インスタレーション」 ケイアン・ギャラリー (グロースターシャー、イギリス)

- 1991 「11人の女性アーティスト」 ヴィクトリア・ミロ (ロンドン)
- 1990 「第26回今日の作家展'90<トリアス>」 横浜市民ギャラリー
「三人展」 かんらん舎 (東京)
「80年代から90年代へ」 アスペクス・ギャラリー (ポーツマス、イギリス)
- 1989 「現代美術への視点 色彩とモノクローム」 東京国立近代美術館/京都国立近代美術館
- 1988 「インターナショナル・ペーパー・アート・ビエンナーレII」
レオポルド・ホーシュ美術館 (デュレン、ドイツ)
「レビュー」 ヴィクトリア・ミロ (ロンドン)
- 1987 「エッセンス」 かんらん舎 (東京)
「イギリスのアイデンティティ」 エキモス (ボルドー、フランス)
- 1986 「第三世代」 カンタベリー・フェスティバル (イギリス)
「海と陸のあいだの鉄」 ヴィクトリア・ミロ (ロンドン)
「The Book Made Art A Selection of Contemporary Artists' Books」 シカゴ大学図書館 (USA)
- 1985 「Sculptors at work」 カンタベリー・フェスティバル (ケント、イギリス)
「ランドスケープ・インテリア」 コラクル (ロンドン)
「ジャパネスク」 モスティン・アート・ギャラリー (ランダドノー、イギリス)
- 1984 「ローテック」 コラクル (ロンドン)
「サロン・ドートンヌ」 サーベントイン・ギャラリー (ロンドン)
「ペーパー・トレイルズ」 ブルーコート・ギャラリー (リバプール)
「リピート」 コラクル (ロンドン)
「アティテューズ '84」 ヨークシャー・スカulptチャー・パーク (イギリス)
「インターナショナル・ガーデン・フェスティバル」 (リバプール)
「ブリューヴァリユ」 ギャラリー・エリック・ファール (パリ)
「スカulptチャー・ニュー・ディレクションズ」 クリーブランド・ギャラリー
(ミドルスポロー、イギリス)
- 1983 「アッセンブル・ヒア！」 コラクル・バックビルディング (ニューヨーク)
「ザ・スカulptチャー・ショー」 ハイワード・ギャラリー& サーベントイン・ギャラリー (ロンドン)
「タング・アンド・グループ」 コラクル・プレス (ロンドン)
- 1981 「ニュー・コンテンポラリーズ」 ICA (ロンドン)
- 1979 「第1回ヘンリー・ムーア大賞展」 箱根彫刻の森美術館

受賞

- 2023 「令和4年度 愛知県芸術文化選奨」 文化賞
- 2000 「TUES賞」 美ヶ原高原美術館
- 1983 「ヘンリー・ムーア財団フェロシップ、アーティスト・イン・レジデンス」 (英国)
- 1979 「第1回ヘンリー・ムーア大賞展」 エミリオ・グレコ賞 (箱根彫刻の森美術館)

パブリックコレクション

東京国立近代美術館

国立国際美術館（大阪）

東京都現代美術館

豊田市美術館（愛知）

愛知県美術館

美ヶ原高原美術館（長野）

ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館（ロンドン、イギリス）

リーズ市立美術館（イギリス）

ヘンリー・ムーア・インスティテュート（リーズ・イギリス）

ヨークシャー・スカulptチャー・パーク（イギリス）

グリーン・ヴィヴィアン・アートギャラリー（スワンジー、イギリス）

メンヘングラッドバッハ市立アプタイベルク美術館（ドイツ）

ベルギッシュグラッドバッハ市立ヴィラ・サンダース美術館（ドイツ）

ドイツ国立通信博物館（ベルリン、ドイツ）

ドイツ郵便博物館（フランクフルト、ドイツ）

オーストリア国立工芸博物館（ウィーン、オーストリア）

グムデン市立カマホフ美術館（オーストリア）

ワシントン・ナショナル・ギャラリー（ワシントンDC・USA）

ニューヨーク市立図書館（USA）

シカゴ大学（USA）

ゲティー・センター（カリフォルニア・USA）

ウオーカー・アート・センター（ミネアポリス、USA）

アルバータ大学（カナダ）

女子美アートミュージアム（相模原・神奈川）

チェルシー美術大学（ロンドン、イギリス）

愛知県立芸術大学芸術資料館

出版物（アーティストブック）

"Terra" コラクル、ロンドン 1984年10部

"Ebb & Flow" コラクル、ロンドン 1988年20部

"Cuckoo" コラクル、イングランド 1992年30部

"Coil / Join" コラクル、イングランド 1995年22部

“ ONE “ コラクル、アイルランド 2012年20部

カタログ（個人作品集）

"Yoko Terauchi Paper & Wire & Lead" コーナーハウス、マンチェスター 1986年

"Yoko Terauchi" メンヒェングラッドバッハ市立アブタイ美術館、ドイツ 1992年

"Yoko Terauchi" チゼンヘイル・ギャラリー、ロンドン &
フルーツマーケット・ギャラリー、エジンバラ 1996年

"Yoko Terauchi Hot-Lines" ドイツ国立通信博物館、ベルリン 1996年

"TUES 2000 寺内曜子展" 美ヶ原高原美術館、長野 2000年

"スタンディング・ポイント I 寺内曜子" 慶應義塾大学アートセンター、東京 2017年

プロジェクト

1994 「クレジット・スイス銀行」ロンドン新社屋壁面彫刻制作

1991 ベルギッシュグラッドバッハ市立ヴィラ・サンダース美術館（ドイツ）
壁面彫刻制作

1990 リーズ・フェスティバル（イギリス） 彫刻・ダンス・音楽 コラボレーション
彫刻（舞台美術）：寺内曜子
振り付け：ソフィア・プレストン、ベス・トンブソン
作曲：グレアム・コートマン
企画：ヨークシャー・ダンス・センター

1986 "Holding water" ナショナル・ユース・ダンス・フェスティバル（イギリス）
彫刻・ダンス コラボレーション
彫刻：寺内曜子
振り付け：グレゴリー・ナッシュ
企画：ヨークシャー・スカルプチャー・パーク